

AI が研究する時代の データベース

トーゴの日シンポジウム2026

参加費
無料

一部
ライブ
配信



#togo2026

10.5 mon... 9:30-17:10
品川ザ・グランドホール

主 催 国立研究開発法人科学技術振興機構

開催概要

国立研究開発法人科学技術振興機構 NBDC 事業推進室では、分野ごとの中核的データベース構築、データ統合利用のための基盤的な技術開発、基盤的ウェブサービスの開発・提供を推進し、研究データをもっとひろく・つなげて・使いやすくする活動に取り組んできました。

近年、ChatGPTをはじめとする生成 AI の進化により、ビジネス、教育のみならず、研究開発の現場も大きく変わりつつあります。今後、データベースを通じた研究データの整備・利用のあり方は大きく変わると考えられます。

2026 年度は、「AI が研究する時代のデータベース」というテーマで、招待講演では、創薬 AI のテーマにかかる研究者の方に技術の現状と今後をご紹介します。また、「統合化推進プログラム」の 2026 年度採択課題の研究代表者の先生方に、公共データベースの開発構想を講演いただきます。シンポジウムの最後は、AI が研究する時代における生命科学の未来について議論するパネルディスカッションを行います。なお、昨年度に続き、一般演題募集に基づくデータベース開発や統合的なデータ解析・利用に関わる方々からのポスター発表を実施します。

招待 講演

奥野 恭史

京都大学 大学院医学研究科
ビッグデータ医科学分野 教授



詳細は
こちら

下記ウェブサイトからフォームにてご登録ください。
<https://biosciencedbc.jp/event/symposium/togo2026/>
※オンライン聴講は当日までご登録いただけます
※意見交換会へのご参加には参加費を申し受けます

事前登録

2026年
9/24 正午まで



AIが研究する時代のデータベース

プログラム

9:30 開会挨拶

9:35 来賓挨拶

9:40 ライトニングトーク

10:40 ポスターセッション

12:40 休憩

13:40 招待講演

「AI 駆動型生命科学研究の実現に向けて」

奥野 恭史 (京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授)

14:20 口頭発表

研究総括「AI 時代における生命科学データベースの価値と未来」

▶ 座長：伊藤 隆司 (NBDC「統合化推進プログラム」研究総括 / 九州大学 生体防御医学研究所 特任教授)

「JoGo-Next: 国際標準に向けたヒトハプロタイプデータベース構築と AI 活用」

長崎 正朗 (九州大学 生体防御医学研究所 教授)

「RNA 標的創薬に資する基盤情報技術の構築」

浜田 道昭 (早稲田大学 理工学術院 教授)

「MD データの共有と再利用を支えるデータ・モデル基盤の構築」

松永 康佑 (埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授)

14:55 休憩

15:05 パネルディスカッション「AI が研究する時代のデータベース」

▶ オーガナイザー：高木 利久 (NBDC ライフサイエンスデータベース特別主監 / 富山国際大学 学長)

▶ パネリスト：伊藤 隆司

(NBDC「統合化推進プログラム」研究総括 / 九州大学 生体防御医学研究所 特任教授)

奥野 恭史 (京都大学 大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野 教授)

片山 俊明 (国立遺伝学研究所 ライフサイエンス統合データベース部門 部門長・特任教授)

木下 聖子 (創価大学 糖鎖生命システム融合研究所 副所長・教授)

鈴木 穰

(東京大学 大学院新領域創成科学研究科附属 生命データサイエンスセンター 教授)

17:05 閉会挨拶

17:10 休憩

17:20 意見交換会